



山青の風

発行日 令和3年8月10日
発行 山形県青年の家
〒994-0032
天童市小路一丁目7-8
TEL 023(654)4545
FAX 023(652)2007

新型コロナウイルスに負けるな！ 今年も地域青少年ボランティア活動を推進します！！

令和3年度 ボランティア関係者研修会

■ 6月4日（金）に市町村教育委員会職員、青少年ボランティアサークル担当者、社会福祉協議会ボランティア担当者が一堂に会し、今年度初の主催事業「ボランティア関係者研修会」を行いました。県内各市町村から10名の関係者の皆さんが参加しました。

午前の部は、体育館で「アイスブレイキング」の手法を学びました。大集団で行う「後だしじゃんけん」、「誕生日サークル」などを参加者が実際にファシリテートしながら行うことで、アイスブレイキングをする際の要点を掴みました。また、小集団で行う「ペーパータワー」を3班対抗で行い、タワーの高さを競い合うことで各班の士気を高めました。その後、「地域の活性化に繋がるボランティア活動のテーマを作りましょう！」と題したワークショップを行い、先ほどの班ごとにKJ法を用いて、付箋を使って各々のアイデアを模造紙に落とし込んでいきました。

午後の部は、「先輩職員からのメッセージ（事例発表）」として、大石田町教育委員会教育文化課の芳賀智彦さんから、実際の業務の苦労話なども交えた報告があり、参加者は真剣に耳を傾けていました。東京オリンピック関係業務も抱えながらの講話ありがとうございました。その後、本研修会の締め括りとして、班ごとに午前のワークショップで作ったテーマに沿って具体的な活動を企画しました。A班は「悩み0の地域へ！」というテーマに沿って、地域の住民が必要な支援を受けられるような仕組みづくりを、B班は「にぎわいのあるまち」というテーマに沿って、青年団体と高校生が協力して夏休みのお祭り出店体験を、C班は「再発見！！地域の魅力！！」というテーマに沿って、スタンプラリーをしながら高校生がスポットを案内する活動に大人を巻き込むなど、3班それぞれ個性のある企画が生まれました。最後に、それぞれの企画に対して忌憚のないコメントを参加者全員で出し合い、企画立案のプロセスについて大いに学び合うことができました。



「夏の体験ボランティア」 2年ぶりの実施へ

■ 昨年は新型コロナウイルスの影響で実施することができなかった「夏の体験ボランティア」が、今年は関係各所の御理解と御協力のもと、7月17日（土）から始まりました。コロナ禍ではありませんが、村山地域は7団体7企画、最上地域は5団体5企画、置賜地域は3団体3企画、庄内地域は6団体10企画を関係各所から提供していただきました。主に夏休みの期間に合わせたボランティアの体験企画の提供が多いですが、9月に入ってからボランティア体験企画もありますので、ぜひ地域のためにボランティアを行いたいという中高生がいましたら、新型コロナウイルス感染症対策を万全にしたうえで、各ボランティア企画にお申し込みください。なお、「夏の体験ボランティア」の詳細（各地域版リーフレット）については、下記のQRコードからご覧いただけます。

村山地域



最上地域



置賜地域



庄内地域



家庭教育支援研修会①「コミュニケーションスキルとスラックライン体験」

■ 山形県青年の家では、青年の現代的な課題に関する支援を目的に、児童・生徒の保護者を対象に、軽スポーツの親子共同活動を通し、子どもの心身の健全な発達について考える研修会を年3回行っています。今回はその1回目として、6月19日(土)に家庭教育支援研修会「コミュニケーションスキルとスラックライン体験」を開催しました。講師に山形県スクールカウンセラーの佐藤節子先生、山形県立東桜学館高等学校の井上祐先生(日本スラックライン連盟公認C級インストラクター)の両氏を招き、コミュニケーションスキルアップ講座とスラックラインの軽スポーツ体験を行いました。前半は、佐藤先生から「コミュニケーションゲームでもっと楽しく」と題して、親子でゲームを行いながらコミュニケーションスキルを高め合いました。「あいこじゃんけん」では、相手が何を出すか考えながら、「あいこ」が3回出るまでじゃんけんをしました。続いて、佐藤先生の絶妙なお話の中で登場する牛と馬のタイミングで軽く相手の手を叩く、「牛馬じゃんけん」は大変盛り上がりしました。その他、「ミラーゲーム」や「質問じゃんけん」をしながら親子のコミュニケーションを高め合いました。最後に、親子共同で「時計」の絵を描きました。それぞれの親子オリジナルの時計の絵は、どれも一点物で素晴らしい共同作業になりました。後半は、井上先生から「スラックライン」を指導していただきました。ウォーミングアップに始まり、帯状のラインでの基本技能を体験しました。安全面の対策はもちろんのこと、インストラクターの専門的見地からの技術指導により、子どもはもちろんのこと、親もライン上で立つことができるようになりました。佐藤先生・井上先生、気温に負けない親子に向けた熱のこもったご指導本当にありがとうございました！



6・7月の利用団体

【宿泊利用】

- ・山形県山岳連盟
- ・ガールスカウト山形県第2団・3団
- ・バスケットボールスクール ハーツ



【日帰り利用】

- ・TOP(バドミントン) ・KBC(バドミントン)
- ・THクラブ(バスケットボール)
- ・かしわ男子バスケットボールクラブ
- ・バスケットボールスクール ハーツ
- ・1st Revバスケットボールクラブ
- ・どんぐりクラブ(バレーボール)
- ・城北クラブ(新体操)
- ・放課後等デイサービス事業所つぼみ(レクリエーション)
- ・株式会社 山形ビルサービス
- ・山形県青年の家
 - 「ボランティア関係者研修会」
 - 「家庭教育支援研修会①ーコミュニケーションスキルとスラックライン体験」
- ・山形県教育庁生涯教育・学習振興課
 - 「東北大学社会教育主事講習」

青年の家SNS始動!

■ 全号でお知らせした山形県青年の家の公式SNS(Twitter・Instagram)が、ついに始動しました。皆さんぜひフォローをお願いします。

インスタ



ツイッター



今後の主催事業

【9月】

9月4日(土)

青年の家体験講座①(ボランティア実技研修会)

「～SDGs×ボランティア～」

申込期間 7/27(火)～8/23(日)

対象 ボランティアに関わる中高生及び指導者

ボランティアに興味のある方

詳細はこちらから



9月19日(日)

地域と学校の防災力を高める研修会

「～高校生防災・減災未来フォーラム2021～」

申込期間 7/28(水)～9/3(金)

対象 県内の高校生

詳細はこちらから



ボランティア
募集中

